



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月9日

上場取引所 東大

上場会社名 テイカ株式会社

コード番号 4027 URL <http://www.tayca.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 清野 學

問合せ先責任者 (役職名) 取締役

(氏名) 山崎 博史

TEL 06-6208-6404

四半期報告書提出予定日 平成23年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	17,687	11.6	1,982	31.7	1,966	33.2	1,139	33.1
23年3月期第2四半期	15,853	9.7	1,504	168.5	1,476	164.4	856	172.0

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 876百万円 (65.5%) 23年3月期第2四半期 529百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	22.96	—
23年3月期第2四半期	17.24	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第2四半期	39,282	24,798	62.9	497.61
23年3月期	39,273	24,220	61.4	486.14

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 24,700百万円 23年3月期 24,132百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	6.00	6.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	6.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	34,600	8.0	3,100	14.0	3,000	13.8	1,700	12.7	34.25

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	51,428,828 株	23年3月期	51,428,828 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	1,790,958 株	23年3月期	1,787,217 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	49,639,697 株	23年3月期2Q	49,649,894 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. 四半期連結財務諸表	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) セグメント情報等	8
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、東日本大震災の影響による停滞を脱し、回復の兆しが見られたものの、急激な円高の進行や欧米景気の減速など、先行き不透明感が払拭しきれない状況で推移いたしました。

このような環境の下、当社グループは積極的な販売活動を展開し、業績の向上に努めました。その結果、当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、微粒子酸化チタンをはじめとする酸化チタン関連製品の販売が好調に推移したこと、販売量の増加に伴い工場稼働率が改善したこと等により、売上高は176億8千7百万円（前年同期比11.6%増）、営業利益は19億8千2百万円（前年同期比31.7%増）、経常利益は19億6千6百万円（前年同期比33.2%増）、四半期純利益は11億3千9百万円（前年同期比33.1%増）となりました。

当第2四半期連結累計期間のセグメント別の概況は次のとおりであります。（添付資料の8ページ「セグメント情報」をご参照ください）

酸化チタン関連事業

汎用用途の酸化チタンは、国内は東日本大震災の影響による停滞からは概ね回復し、インキ向け、塗料向け等の販売が好調に推移し、販売数量、売上高ともに前期を上回りました。輸出もアジア市場を中心に引き合いは旺盛で好調に推移いたしました。

機能性用途の微粒子酸化チタン、微粒子酸化亜鉛は主用途の化粧品向けが好調に推移し、販売数量、売上高ともに前期を大幅に上回りました。表面処理製品も化粧品向け、コピー機やプリンターのトナー向けが堅調に推移いたしました。

以上の結果、当事業の売上高は102億8千3百万円（前年同期比17.1%増）となりました。

その他事業

界面活性剤は、主用途の洗剤・シャンプー等日用品向けが輸入品の攻勢を受け、販売数量は減少いたしました。原料価格上昇分の販売価格への転嫁に努めた結果、売上高は前期並を維持いたしました。海外の連結子会社は引き続き好調に推移いたしました。

導電性高分子酸化重合剤は、中国品の攻勢による販売価格の下落により、低調に推移いたしました。

硫酸は販売数量、売上高ともに前期並を維持いたしました。

無公害防錆顔料は、欧米向けを中心に拡販に努めたものの、円高による影響を受け、売上高は減少いたしました。

倉庫業は、取扱量、保管量が増加したことにより売上高は前期を上回りました。

エレクトロ・セラミックス製品の売上高は、前期並を維持いたしました。

以上の結果、当事業の売上高は74億3百万円（前年同期比4.7%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の資産総額は、392億8千2百万円（前連結会計年度末比9百万円増加）となりました。増減の主なものは、流動資産では、たな卸資産が6億1千8百万円増加、固定資産では、有形固定資産が4億9千4百万円、投資その他の資産が3億4百万円それぞれ減少したものであります。

負債合計は、144億8千4百万円（前連結会計年度末比5億6千8百万円減少）となりました。増減の主なものは、長期借入金6億5千3百万円減少したものであります。

純資産合計は247億9千8百万円（前連結会計年度末比5億7千7百万円増加）となりました。増減の主なものは、四半期純利益による利益剰余金が8億4千1百万円増加、その他有価証券評価差額金が2億5千7百万円減少したものであります。

当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況は、営業活動によるキャッシュ・フローが19億7千7百万円の収入（前年同期比4千3百万円収入額が減少）となりました。主な要因は、たな卸資産の増加6億2千2百万円ありましたが、税金等調整前四半期純利益18億9百万円と減価償却費11億9千万円によるものです。投資活動によるキャッシュ・フローが9億1千7百万円の支出（前年同期比1億8百万円支出額が増加）となりました。主な要因は、有形固定資産の取得による支出8億8百万円によるものです。財務活動によるキャッシュ・フローが9億8千4百万円の支出（前年同期比1億2千2百万円支出額の増加）となりました。主な要因は、長期借入金返済9億9千5百万円によるものです。この結果、現金及び現金同等物の第2四半期連結会計期間末残高は54億2千7百万円（前連結会計年度末比6千7百万円増加）となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の連結業績につきましては、現時点で売上高346億円、営業利益31億円、経常利益30億円、当期純利益17億円を見込んでおります。詳細につきましては、平成23年10月28日に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,438	5,506
受取手形及び売掛金	9,777	9,735
商品及び製品	4,565	5,214
仕掛品	572	409
原材料及び貯蔵品	1,931	2,064
その他	394	487
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	22,677	23,416
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,398	4,322
機械装置及び運搬具（純額）	4,788	4,098
その他（純額）	1,774	2,046
有形固定資産合計	10,961	10,467
無形固定資産	139	209
投資その他の資産		
投資有価証券	4,488	4,116
その他	1,028	1,095
貸倒引当金	△23	△23
投資その他の資産合計	5,493	5,188
固定資産合計	16,595	15,866
資産合計	39,273	39,282

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,906	3,993
短期借入金	2,023	1,990
未払法人税等	637	670
賞与引当金	324	419
その他	1,784	1,762
流動負債合計	8,677	8,837
固定負債		
長期借入金	3,610	2,957
退職給付引当金	2,613	2,586
その他の引当金	5	—
その他	145	103
固定負債合計	6,375	5,647
負債合計	15,052	14,484
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,855	9,855
資本剰余金	6,767	6,767
利益剰余金	6,926	7,768
自己株式	△537	△538
株主資本合計	23,011	23,852
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,180	923
為替換算調整勘定	△58	△74
その他の包括利益累計額合計	1,121	848
少数株主持分	87	97
純資産合計	24,220	24,798
負債純資産合計	39,273	39,282

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
売上高	15,853	17,687
売上原価	12,095	13,299
売上総利益	3,758	4,387
販売費及び一般管理費	2,253	2,405
営業利益	1,504	1,982
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	61	59
その他	24	7
営業外収益合計	87	68
営業外費用		
支払利息	79	55
その他	36	28
営業外費用合計	115	84
経常利益	1,476	1,966
特別損失		
固定資産除却損	85	148
ゴルフ会員権評価損	—	6
投資有価証券評価損	4	1
特別損失合計	90	156
税金等調整前四半期純利益	1,386	1,809
法人税、住民税及び事業税	524	644
法人税等調整額	△3	12
法人税等合計	520	657
少数株主損益調整前四半期純利益	865	1,152
少数株主利益	9	12
四半期純利益	856	1,139

(四半期連結包括利益計算書)
(第 2 四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成22年 4 月 1 日 至 平成22年 9 月 30 日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 9 月 30 日)
少数株主損益調整前四半期純利益	865	1,152
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	△328	△257
為替換算調整勘定	△7	△18
その他の包括利益合計	△336	△275
四半期包括利益	529	876
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	521	866
少数株主に係る四半期包括利益	8	9

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,386	1,809
減価償却費	1,298	1,190
受取利息及び受取配当金	△62	△60
支払利息	79	55
売上債権の増減額 (△は増加)	207	33
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△118	△622
仕入債務の増減額 (△は減少)	△214	102
その他	△135	51
小計	2,439	2,557
利息及び配当金の受取額	62	60
利息の支払額	△79	△55
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△401	△585
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,020	1,977
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△742	△808
投資有価証券の取得による支出	△5	△5
その他	△61	△103
投資活動によるキャッシュ・フロー	△809	△917
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△114	262
長期借入れによる収入	700	50
長期借入金の返済による支出	△1,194	△995
自己株式の取得による支出	△0	△1
配当金の支払額	△247	△297
少数株主への配当金の支払額	△6	△3
財務活動によるキャッシュ・フロー	△862	△984
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	△6
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	348	67
現金及び現金同等物の期首残高	4,390	5,359
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,738	5,427

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	酸化チタン 関連事業	その他 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	8,784	7,068	15,853	—	15,853
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	213	213	(213)	—
計	8,784	7,282	16,067	(213)	15,853
セグメント利益	634	847	1,481	22	1,504

(注) 1 セグメント利益の調整額22百万円は、セグメント間取引消去等であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	酸化チタン 関連事業	その他 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	10,283	7,403	17,687	—	17,687
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	246	246	(246)	—
計	10,283	7,649	17,933	(246)	17,687
セグメント利益	1,470	506	1,976	5	1,982

(注) 1 セグメント利益の調整額5百万円は、セグメント間取引消去額によるものです。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。